



ナルク宮城

「けやきの会」会報

ニッポン・アクティブ・ライフ・クラブ
発行元 ナルク宮城会報誌編集委員会
代表 梅津 健次
〒 980-0871
宮城県仙台市青葉区八幡 1-4-25
☎・FAX (022) 765-8727
E-mail nalcmiyagi@ab.auone-net.jp
http://nalc-miyagi.jimdo.com/

「ナルク宮城」今年で創設 25 周年

組織維持との戦い “正念場が続く”



昨年 12 月 12 日、1 年の世相を現す漢字として「戦」の一文字が発表されました。これはロシア侵攻によるウクライナ戦争、北朝鮮のミサイル発射など戦争意識の高まり、円安、物価高に対する身近な生活での戦い、サッカーワールドカップでの日本代表の熱戦などが、「戦」一文字に反映されました。

ナルク宮城においても「忍び寄る組織の高齢化」との戦い、三年目に入ってもコロナ禍で、「人との交流」など、何一つ身動きもできず地団駄を踏んだ一年となったことなど、「コロナウイルス」との戦いに明け暮れたことです。

特に前段の組織の高齢化の問題は、予想以上に進行し

ており、会員の平均年齢が後期高齢者の「75 歳」を既に超えていること、役員クラスの平均年齢が 80 歳を超えていることなど、高齢化に伴う様々な問題・課題を抱えながら、新しい年を迎えることとなりました。

抱える高齢化は全国も同じ

現在ナルクは全国に約 90 の拠点と 11,000 有余人の会員を擁しているが、何れの拠点もナルク宮城同様、組織の高齢化の課題・問題を抱えています。

また高齢化の問題は一人ナルクだけでなく日本全体が抱えている問題・課題でもあります。

特に 1970 年代半ば以降に少子化現象が続いていること、近年、価値観の多様化が浸透してきたことなどにより、ボランティアのなり手が不足し、後継が続かないことによる会員不足(特に活動会員)が続いております。

組織の高齢化はこうした要因が背景にありますので、組織を維持運営し

ていくには、課題を抱えての新しい年を迎えることとなりました。(梅津 記)

ナルク宮城の創設・発展に尽くされた林 茂さん 令和 4 年 12/22、満 93 歳で永久の旅に



ナルクは 1994 年大阪で誕生し、宮城は 1998 年 8 月 1 日に設立されました。その宮城の設立に尽力されたのが、この度永久の旅に立ちたれました「林茂」さん。享年 95 歳 (満 93 歳) でした。故・林茂さんは、ナルク宮城を立ち上げたばかりでなく、創設期から 20 年間に亘り宮城拠点代表として、また本部の理事として会の発展にご尽力なされました。

この間、東日本大震災後にはパラソル喫茶を開設し地域コミュニティづくりにご尽力された他、本部 25 周年記念総会では全国から 1200 名余の代議員諸侯を「仙台」に集め、地方での開催の難しさを克服、心に残る記念総会となったこと等、その活躍が評価され、この度本部より「生前の顕著な活躍に」対し、感謝状が伝達されました。なお林さんの生前の口癖は「ピンピンコロリン」です。「ナルクでボランティア活動出来たことが生き甲斐である」と度々述懐されていた姿が、今でも心に残ります。故人のご冥福をお祈りします。

(梅津代表 記) 《写真はナルク創設期で 68 歳の時のもの》

故・林茂元代表を偲ぶ

阿部 喜 傳



林元代表が2～3日前に入院したと知った翌々日の12月22日、今日午前中に逝去されたとの知らせを受けたときの、言いようのない寂寥感はどうしようもなかった。1998年8月1日仙台市福祉プラザで開催した設立総会でマスコミ、行政幹部などの注目のなか、林さんを初代支部長としてナルク宮城支部が発足した。以来20年間に亘り、宮城拠点代表、本部理事としてナルク活動を先導し、その発展にご尽力され、2018年6月の20回記念総会を区切り次への代へと夢を託されました。その後も活動は相変わらず率先して続けられ、まさにナルクが第二の人生の生甲斐であるかのような日常生活を送っておられました。2011年に発生した東日本大震災後には、仮設住宅で「パラソル喫茶」を開設し物心両面による支援を主導されました。天皇・皇后両陛下が仮設住宅をご訪問なされた際には「ナルク」について直接ご説明する機会も与えられました。林さんとの出会いは、私が30代の一時期、東北電労働本部で賃金対策を担ったとき、「東北に賃金の林あり」とまで言われ中央で活躍された林大先輩が本部副委員長をしておられ、直にご指導を受けたのがそもそもの始まりでした。後に、林さんは、第8代の本部執行委員長を4年間(昭和50～54)努められ、組合員の先頭に立って活躍されました。林さんと私は、組合を退き職場に復帰したのも一緒でしたが、第2の職場となった会社で再び一緒になり、ナルク発足総会の時もその後も一緒に、長いお付き合いのご縁をいただき数々のご指導を受けてきました。本当にありがとうございました。ここに改めて感謝し衷心よりご冥福をお祈りいたします。



将来、「車での送迎は難しくなる」!?

芦屋拠点が発行している機関誌「打ち出のこづち」No.139号(令和4年10月10日)に興味深い記事がありました。その号では、自動車免許返納についてのアンケートを行ったところ、自動車免許を持っている人(59人)の内、返納しようと思った人が27人、また既に返納された人30人あったと云う。また既に返納された人の「返納時期」を伺ったところ、60代で6人、70代の前期で11人、75歳の後期高齢者以降の人が7人、80代に入ってから4人ほどおりました。宮城拠点でも高齢化が進んでおりますので、免許証返上は他山の石とは云えないようです。送迎のあり方は、今から考えておく必要があるようです。

◇ 事務局からのお知らせ ◇

令和5年1月25日開催を予定していた今年の新年会は、急遽中止としましたのでお知らせします。

(令和4年12月25日開催の運営委員会で決定)

なお、コロナ禍の感染状況等を見て後日、お茶会「仮称」を予定しております。中止とした理由は、①特に宮城県はコロナ禍の高止まりが続いていること、②ワクチン接種が進んでいるがその割に高齢者の死者数が増えていること、③宮城の会員の中には、基礎疾患を持っている人が多く、その場合、重症化リスクが高いこと、④会員の中にごく僅かではあるがコロナに感染した人が見られたこと、などを総合的に判断・考慮したものです。

【編集後記】「年をとるほど認知症になりやすい」こんな記事が目にとまった。65歳以上の5人に一人が認知症になっているという。この度、林さんが他界されたが、直前まで毎日、新聞2紙に目を通されていた。それは角から角までの完読でした。満93歳と、年を召されていても何時も「シッカリ」とされていた。見習いたい一つである。(梅津 記)

賛助会員(敬称略、順不同)

- ▶ 東北電力労働組合
- ▶ ユアテックユニオン
- ▶ 東北発電工業労働組合
- ▶ わかくさ幼稚園